

同窓会・久留米工業会関東支部 定期総会・懇親会



「第二十八回同窓会・久留米工業会関東支部 定期総会・懇親会」は令和五年十月一日（日）十二時三十分からアルカディア市ヶ谷にて四年ぶりに開催され、盛況裡に終了する事が出来ました。当日は天候にも恵まれ多数の会員参加が見込まれましたが、女性の出席者四名を含め最終的には五十名程の参加者となりました。

総会では、執行役員の司会にて、会員物故者への黙祷、村瀬支部長の挨拶で始まり、続いて事務局より令和四年度事業報告及び決算・監査報告、令和五年度事業計画及び予算について説明が有り、新規役員の紹介も含め、満場一致で報告の議案は承認されました。

来賓の同窓会・久留米工業会本部会長 伊藤絹子様からはご祝辞、本部の近況報告並びに「第十四回大同窓会」開催（十二月二十九日）についてのご案内等を頂きました。

続いて講演へ移行し、久留米高専校長 松村晶様より「久留米高専の現状と今後について」ビデオ放映を含めて、現在の活動状況、世界の半導体不足への今後の対応として、半導体専門学科開設へ向けて活動中等の興味深いお話を拝聴する事が出来ました。

この後懇親会へ移行。懇親会は神家役員の司会にて、まず、古賀役員の乾杯の発声にて始まりました。続いて、同窓会・久留米工業会本部副会長 後藤信明様、久留米市東京事務所次長 山下裕嗣様、くるめつつじ会理事 中里由美子様の来賓挨拶を頂きました。

今回は初参加の女性二名、高専一期の有志の皆さん、十五期の代表者の方にもご挨拶を頂き、和やかな雰囲気の中で旧交を温めあうことが出来ました。またお土産に軽井沢のクラフトビール、くるめっ娘ラーメン、黒棒等を皆さんお持ち帰り頂き、大変好評でした。

最後は、吉村顧問の音頭にて、恒例の逍遥歌の合唱、その後関根副支部長の発声による、万歳三唱にて閉会となりました。

「第二十九回同窓会・久留米工業会関東支部 定期総会・懇親会」は令和六年十月六日（日）十二時三十分よりアルカディア市ヶ谷にて開催を予定しております。